

防災避難誘導訓練

11月8日（水）、『マグニチュード6.5の地震が発生、その後、火災が発生』したことを想定し、体育館に避難しました。

最初に、中播磨消防署北部出張所の所員3名の方々にご来校いただき、避難する様子を見ていただきました。生徒たちは校舎内では「おはしも」を守り、校舎外では早く避難先に行くことを心がけて、迅速に避難誘導訓練を行いました。その後、講評をしていただき、「安全に避難できているが、頭ではわかっているが、実践となると難しい。」また、「これから空気が乾燥する季節になるので、火の用心に気を付けてください。」とのお言葉をいただきました。



校長先生からは、避難訓練をすることの意味について述べられ、「いつ起きるかわからない自然災害に対して、どこに逃げるべきか、その時にとっさの判断ができるように訓練をしている。」とのお話をいただきました。また、2年前の避難訓練の際に消防署からいただいたご助言について触れられ、「『おはしも』を肝に銘じて、これからも災害への意識を高めていってほしい。」との話がありました。



最後に、防災ジュニアリーダーとして活動に参加してくれている生徒たちの発表がありました。3年生の京極陸人くんが、夏休みに東北へ震災ボランティアに行った時の報告に始まり、災害が発生した時の注意点や、教室に掲示してある注意事項について、例を挙げて説明してくれました。

パワーポイントによるプレゼンが終わると、「防災クイズの時間です。」と、たくさんのクイズを用意し、全校生に向けて問いかけました。最終に残った生徒たちには（4名）景品が用意しており、防災に関する知識を深めるとともに楽しく、かつ有意義なひと時を過ごしました。



いつ起こるかわからないのが「災害」です。いざという時に、自分がいかに行動できるかを考える良い機会となりました。これからも防災意識を高く持ち、常に最悪の場合を考え、災害が起こった時に最善の行動がとれるよう、今日の学びを活かしてほしいと思います。